



志をもって 未来を切り拓け

< 貫く精神 >

自学
温言温動

3-2音楽の授業のようすから ～男声パートの迫力ある歌声～

6月24日(火)の2時間目いつも通りに授業の様子を参観していたところ、3-2は音楽室で歌のパート練習をしていました。アルト、ソプラノの女声パートは第1音楽室で、男声パートは第2音楽室で先生が弾くピアノに合わせて、音程を正確につかむなどのパート練習でした。そのときに男声パートの声量の大きさにとても驚きました。数人の子だけではなく、多くの子がお腹から声を出し、声量の大きさはもちろんのこと、男声の力強く迫力のある歌声で、窓ガラスが振動するほどの迫力を感じました。きっと、一人一人の心が解放され、安心できる仲間関係があるからこれほど大きな声を響かせることができるのだと感じました。

さらに、スクワットをしたり、腕立てをしたりしながら、パート練習を行い、さらに歌声に力強さも加わるすばらしさでした。腹筋を使うとよいということは聞いたことがありましたが、それ以外の筋肉も使いながらのパート練習は初めて見ましたが、全員が意欲的に取り組んでいました。思わず拍手をしましたが、それくらい授業に対して、意欲的に活動する姿がすばらしかったです。



3-3社会の授業のようすから ～学習班で温かさのある学び合い～

同じときに3-3では、社会の授業を行っていました。教室に入ると、学習班の隊形になって、どの班も活発に意見交流をしていました。すばらしいと思ったことは、学習班の交流でワイワイガヤガヤと騒がしくなるのではなく、どの班も高いテンションではなく、とても穏やかに意見の交流ができていたことです。どうして、こんな学び方ができるのかと見てみると、自分の意見を伝えようとしている子と、それを真剣に最後まで話を聞こうとしている子の関係ができていて、とても穏やかな交流ができていたのだと感じました。また、小集団での学習班だからこそ、みんなが学習に参加できていることもすばらしかったです。



3-2英語の授業のようすから ～仲間に関わる温かい姿～

6月26日(木)の3-2の英語の授業でも、学習班で学び合う姿が見られました。3-3と同じように、とても穏やかで相手の話を最後まで聞こうとする姿が、温かい学び合いとして現れていました。特にすばらしいと思ったのは、相手の子がわかるまで何度も丁寧に説明する姿があり、仲間を大切に思う気

持ちが伝わってきました。学習班による学習活動を行うことによって、これまでの先生と生徒との関係による授業だけでなく、生徒と生徒との関係による授業が、意欲的な学習態度につながっています。さらには、仲間一人一人を大切に思う気持ちが高まり、温かい仲間関係づくりにもつながることを期待しています。



2-1 英語の授業のようすから ～先生たちの本の読み聞かせ～

6月25日(水)の3時間目に廊下を歩いていると、アゴラ教室の付近から歓声や笑い声が聞こえてきました。冷房を効かせるためのカーテンを開けると、教科担任の大橋先生とALTのレムエル先生の2人が、絵本の「大きなかぶ」の英語バージョンで、読み聞かせをしていました。大橋先生に聞くと、2年生の英語の学習内容に、「幼児に英語の本を読み聞かせをしよう」というものがあり、2人の先生が読み聞かせ役をやり、2-1の子たちは幼児になりきって楽しもうという設定でやりとりがされていました。なりきってというよりも、2-1の子たちは楽しく大いに盛り上がり、楽しみながら英語を聞いていたのが印象的でした。



【7・8月のおもな予定】

- 3(木) いじめについて考える日
- 4(金) 学習について考える日
- 9(水) ⑥3年性教育講話
- 11(金) キャリア・スクール
※梅林中キャリア・スクール「The 仕事場 in 梅林」は、9:50～11:30で1講座100分で行います。講座数は19講座の予定です。
- 19(土) 夏休みスタート
～8/27(水)まで
- 8/28(木)～9/1(月)
3時間授業(給食あり)
- 29(金) ③3年「狂俳」指導
※「狂俳」とは、俳句のように季語にとらわれず、十二音(五十七調あるいは七十五調)で構成される世界で最も短い詩形といわれています。

夏休みまであと3週間です。このクラスの仲間と離れて、自分一人でも頑張れる夏休みにするために、この夏休み前の3週間、どれだけ頑張れるかが重要です。

9月2日(火)と3日(水)は、前期期末テストです。夏休みの自主学習の頑張りをテストで発揮できるように、これまでの学習の復習に力を注ぎましょう。